

# 江陵女子大舞台で3勝

## インターハイ道予選に弾み

### 全国私立高校バレー初出場



初出場した全国私立高校男女選手権で3勝を挙げた江陵女子

バレーボールの全国私立高校男女選手権大会（3月22・25日・東京町田市立総合体育館）で女子の江陵が初出場し、セット率で決勝トーナメントに進めなかったものの、予選リーグで3勝を挙げた。伊良つばさ・現主将（3年）は「いろいろな特徴あるチームと対戦できて良かった。反省点を見直し、インターハイの道予選につなげたい」と、意気込んでいる。

※学年はいずれも4月現在。

江陵は昨年12月に札幌で開催された道予選会で準優勝し、全国切符をつかんだ。2月の道高校新人大会でも2位となったが、けが人が出たことによるポジション変更や、インフルエンザなどで一からチームをつくり直す時間を要した。

#### 大型チームに挑む

大会初日は初戦の夙川学院（兵庫）に2-1で競り

#### 〈江陵女子名簿〉

▽監督 福田まどか▽コーチ 羽原悠紀▽マネージャー 廻淵砂希  
▽選手 ①伊良つばさ②黒田沙耶（以上3年）③九本有希菜（2年）④坂井和（3年・大会時に主将）⑤平栗弥々（2年）⑥能地愛美⑦塚本彩音（以上3年）⑧高井詩音⑨千葉このみ⑩藤原千怜（以上2年）⑪森若菜摘⑫澤口たかね⑬刈谷慧寧⑭勝見晴香（以上3年）⑮嶋田初音⑯藤澤蓮⑰仲谷千咲都（以上1年）

伊良主将は「相手のペースにのまれ、自分たちのバレーを貫けなかった。札幌山の手も身長は高いので言い訳にはできない」と悔しそうに振り返った。

#### 接戦制すも課題

2日目は磐城第一（福島）と豊橋中央（愛知）に、いずれもファイナルセットにもつれ込む接戦の末に勝利した。平栗弥々（2年）や坂井和（3年・大会時に主将）らが奮闘してスパイクを決めたものの、両試合とも第1セットを奪われる苦

しい展開だった。結局3勝1敗で3チームが並び、セット率で3位に終わった。同ブロックには各地域の予選1位チームがなく恵まれていたが、2セットで勝ち切る力に課題を残した。

福田まどか監督は「夏を見据えたと決勝トーナメントに進まないのが駄目。収穫は全国の舞台を踏めたことだけ」と指摘する。

#### 強豪と練習試合

大会後に千葉と山梨に遠征、聖和学園（宮城）と練習試合を行った。江陵よりも平均身長は低いのが、伊良主将は「観察力が鋭く、苦手なところを突いてくる。自分たちも考える力が必要だと思った」と感心した。

悲願の全国高校総体（インターハイ）出場へ刺激を受け、日々の練習に励む。全国私立大会は男女各80チームが参加。8ブロックに分かれた予選リーグの1位チームが決勝トーナメントに進んだ。優勝は男子が駿台学園（東京）、女子が金蘭会（大阪）。

江陵	2	1526	225	7	2816	1	夙川学院
江陵	2	2525	105	0	函館大妻	1	函館大妻
江陵	2	2525	1211	0	札幌北斗	1	札幌北斗
江陵	2	2525	105	0	函館大妻	1	函館大妻
江陵	2	2525	105	0	函館大妻	1	函館大妻
江陵	2	2525	105	0	函館大妻	1	函館大妻
江陵	2	2525	105	0	函館大妻	1	函館大妻
江陵	2	2525	105	0	函館大妻	1	函館大妻
江陵	2	2525	105	0	函館大妻	1	函館大妻
江陵	2	2525	105	0	函館大妻	1	函館大妻

江陵	2	1625	23	1	磐城第一
江陵	2	1625	23	1	磐城第一
江陵	2	1625	23	1	磐城第一
江陵	2	1625	23	1	磐城第一
江陵	2	1625	23	1	磐城第一
江陵	2	1625	23	1	磐城第一
江陵	2	1625	23	1	磐城第一
江陵	2	1625	23	1	磐城第一
江陵	2	1625	23	1	磐城第一
江陵	2	1625	23	1	磐城第一

Vリーグ選手招き8月に教室開催  
帯広バレーボール協会

帯広バレーボール協会（小野寺秀会長、加盟123チーム）の2016年度総会が17日、帯広市内のふじもり食堂で開かれた。47人が出席。小野寺会長が「今年も皆が気持ち良くバレーボールができるよう頑張ろう」とあいさつした。今年度事業では、Vリーグ

▲主な大会日程▽  
24日・白樺学園高、帯三条高、帯南商高▽道クラブ連盟会長杯争奪選手権大会（5月14、15日）▽芽室町総体、帯畜大  
▽NHK杯全十勝ママさん大会（同15日）▽音更町総体  
▽ファミリーマートカップ全日本小学生大会帯広地区予選会（同21、22日）▽芽室町総体、音更町総体  
▽帯広市中体連春季大会（同21日）帯一中、帯緑園中▽道高体連十勝支部予選会（同26、28日）音更

あいさつする小野寺秀会長

